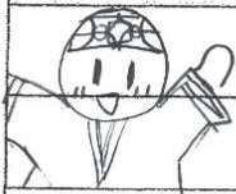


作山本 美緒

目次

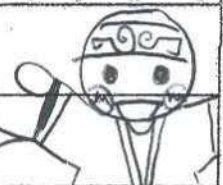
1. 調べようと思った理由	
<u>調べるのに使う資料</u>	P 2~
2. 「アイヌ、てなに？」	P 3~
3. <u>アイヌの歴史・戦い</u>	P 4~
4. <u>アイヌの言葉</u>	P 7~
5. <u>アイヌ民族の生活・暮らし</u>	P 10~
6. <u>アイヌの楽器・おどり・歌</u>	P 16~
7. <u>アイヌと動植物の関係</u>	P 18~
8. <u>アイヌの人たちの一生</u>	P 19~
9. <u>わかったこと・まとめ</u>	
<u>使った資料</u>	P 22~

—— アイヌのことを一緒に学ぶキャラクター ——



アイヌンです!!

アイヌアです!!



よろしくおねがいします!!

1. 調べようと思った理由・調べるのに 使う資料

理由

ある日、テレビをみていて、CM
に入った時に「ウポポイ」のCM
がながれ、「アイヌ、てなんだろう」と思
い、気になったので、調べること
にしました。

使う資料

・ウポポイへ行った資料

- ・本
- ・インターネット
- ・体験



行きました!!

2 アイヌってなに？

アイヌとは、もともと、北は根元ね北緯50度線付近より南の樺太、東は千島列島（また北海道、および）南は本州にまたがる地域に居住していた民族のこと。

アイヌは、元来は狩猟採集民族であり、牛勿々交換による交易を行う。独自の文化を有する。母語はアイヌ語。独自の文様を多様する文化を持ち、織物や服装にも独特の文様を入れる（かつては、身体にも刺青を入れた）。家（住居）は、(昭和期以降の学者らが)「掘立柱建物」と呼ぶ建築様式である。



「アイヌ」というのは、アイヌ語で「人間」という意味なんだよ！

「カムイ」というのはアイヌ語で「神」という意味だよ！

3. アイヌの歴史・戦い(コシヤマイン)

アイヌは、今から8000年ほど前に始まりました。そこから約100~200年ほど前までを「アイヌ文化」の時代とされます。

そして今から8000年から4000年ほど前、アイヌの人たちは、まわり

りに住む人々(サハリン、

千島列島、本州)のところへ行き、交易して

いました。そのころ、和人たちが

北海道の南部に移り住みはじめ

ました。サケなどか売るので、それを

求めてきたのです。また、戦いに敗れたさ

むらいが北海道に逃げることもあり、アイヌの人たちの土地だったところに和人が住むようになったのです。

そのような時、しのり(はこたて)でアイヌの少年が和人に殺されるという事件がおきたのです。



この事件がきっかけとなって、コシャマインをリーダーとするアイヌの人たちと、和人との間で戦いが始まりました。そして、コシャマインは戦死(1457年)し、100年間ほど戦いが続きました。後に、数十年の間、和人の住むところは松前や上ノ国だけになりました。そこを、和人地と呼びます。ここを治めていたのが松前氏です。

(シャクシャインの戦い)

1630年ころから、松前氏のゆるしをもった家来(さむらい)は、海岸のアイヌの人たちの住む村で物々交かんをする交易を行いました。この交易でもうけた分がさむらいたちの給料になったのです。

したいに、さむらいたちはもうけを大きくしようと、交易の条件を

・1641年ころ	サケ100匹	キ	→	米30kg
	(アイヌが)			(和人)
	↓			
・1669年ころ	サケ100匹	キ	→	米10kg
	(アイヌが)			(和人)




と、いうように変えていきました。

そのほか、和人の砂金ほりや、たかをとる人が、アイヌの人たちの村に入ってくるようになりました。

こうしたことが重なり、

不満

アイヌの人たちの不満は高ま

アイヌの人たち → 

りました。1669年、シャクシャインをリーダーとする、アイヌの人たちの

の戦いがはじまりました。



この戦いは、松前のさむらいが月勝ちました。しかし、さ

むらいたちは、シャクシャインを

写真2-6: アイヌの人たちの戦いのようす

よびだし、たましうちにしました。

その後、アイヌの人たちから刀を取り上げ

「松前の言うとおりにする」とちかあせました。また、

交易の条件は、

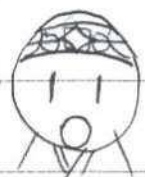
アイヌのサケ100匹き → 和人の米20kgくらい

となりました。

となりました。

クナシリ、Xシリの戦い、というのを

この後おこるよ。



4. アイヌの言葉

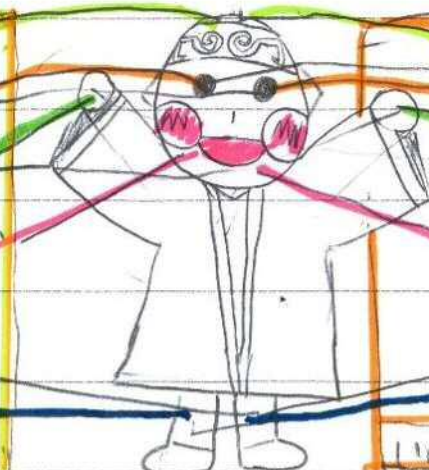
アイヌ語は、現在日本と呼ばれている地域で、むかしから使われてきました。そして、かおをアイヌ語でナン(ナヌ・ナヌ)とよぶように、アイヌ語と日本語は、大きくちがう言葉です。


アイヌ語はかつて北海道全体、サハリン南部、千島列島、および本州の一部で話されてきました。

北海道だけだと思ったら、本州も使っていたんだね!



またアイヌ語は地域によって少しちがうことがあります。それを比べるのもいいですね。

さば...あたま		さば...あたま
しき...め		しき...め
てけ...て		てけ...て
なぬ...かお		なぬら...かお
けま...あし		ちきり...あし
さるのアイヌ語		いかりかおのアイヌ語

アイヌ語で 森林のくまさんを歌うと... 

シネアントタ ニタイトウタ キムンカムイ クヌカ
ある日 森の中 くまさんに であた


ルサム タノンノヘチラッパ キムンカムイ クヌカ
はなさく 森のみち くまさんに であた

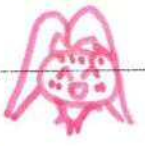
キムンカムイ エネイタキ ホンメノコ ホクシキラ
くまさんは こういった おじょうさん さあにけ

(すたころさ ささのさ すたころさ ささのさ)

ネコロカイ キムンカムイ エノシ ホユアワエ
ところが くまさんが 処から ついてくる

(トコトコ トッコトッコト トコトコ トッコトッコト)

ホンメノコ エネチウカ ネツカイ エハチシ
おじょうさん おまちなさい なにか おとしたよ 

レタセイ アネカラ ホンポン キサルンパ
しろいかいて つくった ちいさな イチリンク 

キムンカムイ イチイライケシ ウクカラジ リンセアンノ
くまさん ありがとう いっしょに おどりましょ 

(ラララ ラララララ ラララ ラララララ)



一緒に歌ってみよう!



※これほうら河地方の言葉が中心になつてつくられています。

よく使えるアイヌ語

シッセセク...あつい シッXマシ...すずしい

こんにちは...イランカラッテ

1...シネ 2...トウ 3...シ 4...ネ


5...アシクネ 6...イワン 7...アッワン

8...トウペサン 9...シネペサン 10...ワン

10がワン!?



今日...タント かんはる...アリキキ

神...カムイ (神とカムイ、発音が似ているね!) 

私...クアニ あなた...エアニ・アノカイ

ありがとう...イヤイライケシ などなど...



調べてみるとおもしろいね!

5. アイヌ民族の生活・暮らし

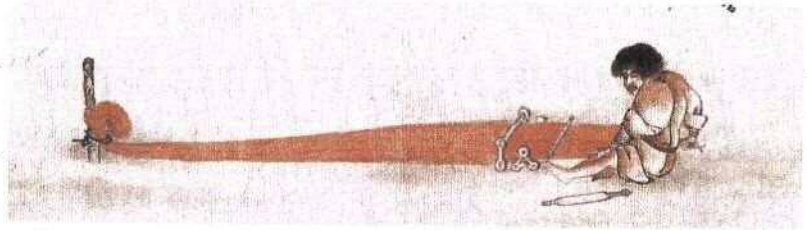
・衣服

昔のアイヌの人たちは、だんの生活の中で、身近にある材料を使って、それぞれの地域に合ったいろいろな衣服を作っていました。

た。

写真

布をおっている様子をえがいた昔の絵



木や草のせん維を糸とし、織機を用いて織る布や帯のほか、日常生活で使用するふくろなど、さまざまな織物や編物が



あります。衣服には強度があり、水にも強いオヒョウのせん維を利用するなど、用途に合わせて素材を使い分けていました。

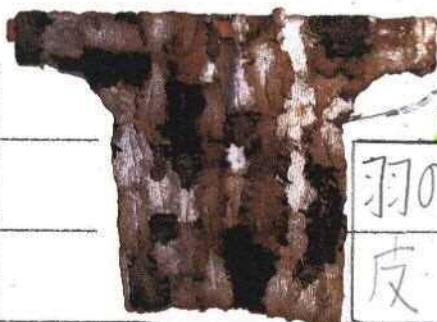


アットウシ

オビョウの木
のせんでお
った衣服

シタラベ

イラクサの
せんでお
った衣服

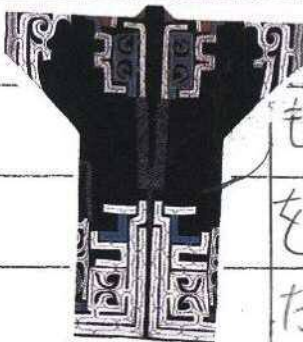


チカウル

羽のついた鳥の
皮で作った衣服

えぞ

にしき

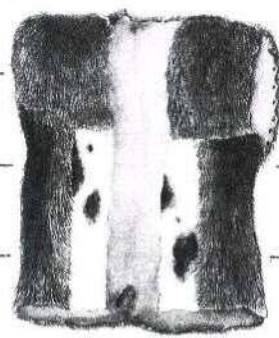


ルウシ

もめんぬの
を使って作
った衣服

カヤ

魚の皮で作
った衣服



ウル

クマの皮
を使った
衣服

じんばおり



・食べ物


昔のアイヌの人たちは、野山で狩りをしたり、川や海で魚や貝をとったり、季節ごとに実る木の实や山菜をとって豊かにくらしていました。



写真1-13: 雪山に入り、弓矢でシカをとる様子





写真1-14: マレツで川をのぼるサケをとる様子

 縄文時代の人たちは アイヌ 民族の祖先!!

食べていたものは、交易で得た米や、こくもつ、山菜、肉や魚を食べていたが、ちゃんこ、りょうりをして食べていました。(ぎょうざなど...)

「やいたりするだけだと思っていたけど、りょうりをして食べていたんだね!」 

アイヌ 豆知識  

アイヌ言語で「ごちそう様」は「ヒンナ」だよ、また「イライケシ」ということもあるよ!

↳ 9ページ

よく使われた素材

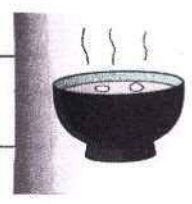
・獣肉、魚肉、山菜、野菜、^丸雑穀、珪藻土

よく使われた調味料・香辛料

・塩、獣脂、魚油、行者ニンニク、タネツケバナ

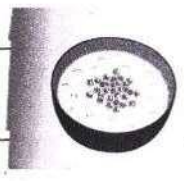
主な料理

オハウ(汁物)



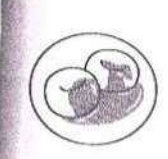
アイヌの食生活の基本、いわば主食のようなもの。肉や魚、山菜類も煮込む。チエフオハウ(魚汁)などがある。

サヨ(粥)



雑穀を炊いた薄いかゆ、固く炊いたものはチサッスエフ、またはそのまますしとよばれる。

シト(団子)



米粉や粟粉を丸めて茹で、獣脂や漬したイクラをつけて味あう。 などなど...

・イ住まい

昔のアイヌの人たちは、食べ物や飲み水などが手に入りやすく、こゝろ水などの災害
あいにくい所に数けん^約十数
けんの家で「タン(村)を作りました。

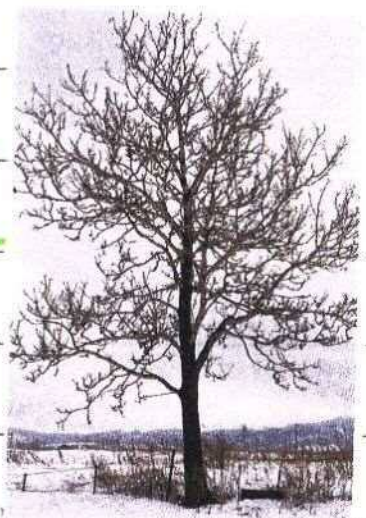

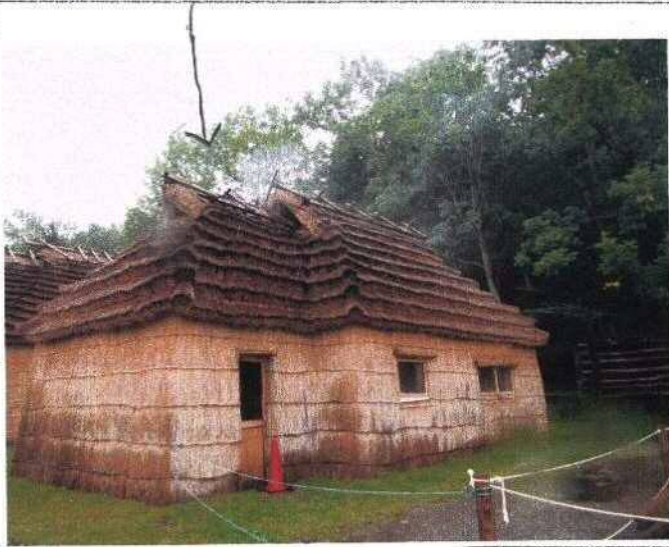


写真1-25: チセを建てる時に柱の材料に使われるヤチダモ

 家はアイヌ語でチセだよ!

チセ(ウポポイでとりました)



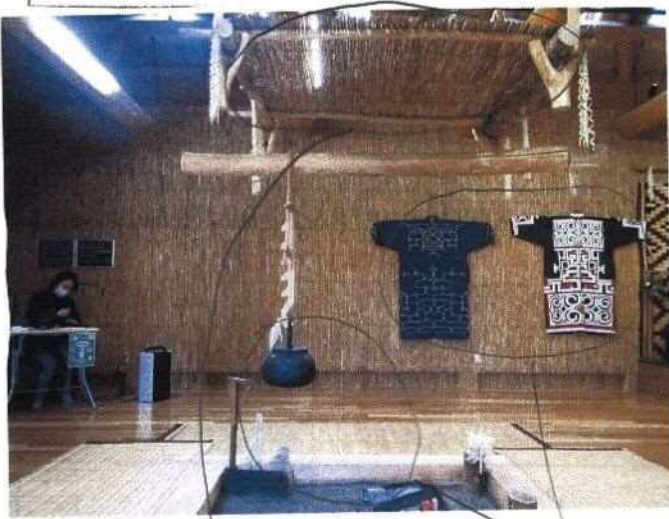
よこには、イオマンテ
でっかう子熊^{クマ}をいれて
おくおりがあつた!



1872



千世の中の様子



ココの下でリョリをする
 時 けむりをあひて
 くんせいなどができる

衣服

キッチンのように

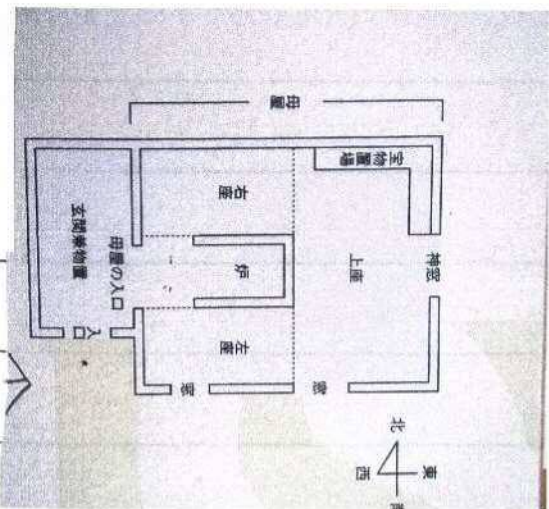
なところ

リョリをする



いろいろ(あたたかい)

かみさまにいろいろ
 するときにつかう



千世のつくり

6 アイヌの楽器・おどり

・歌欠とおどり

アイヌの人たちは、儀式の時や親しい人たちが集まった時に歌ったおどりしました。また、仕事をしながら歌うこともありました。



写真1-43: 鶴の舞 (サロルンチカプリムセ)

歌やおどりには、ネ々に感謝の気持ちを伝えるとともに、ふだんのくらしの中での喜びや悲しみを神々と分かち合いたいという気持ちがこめられていました。

ほとんどのおどりは女の人によっておどられますが、「剣の舞 (エムシリムセ) や「弓の舞 (ク・リムセ) などは男の人によっておどられます。



写真1-48: 弓の舞 (ク・リムセ)
帯広カムイトウウポボ保存会。

楽器

ムックリ



ムックリはアイヌの人たちの楽器の一つで、口琴ともよばれています。

材料は竹などを使い、長さは10~15cmくらいではばは1cm前後、あつさは2mmくらいです。

板の真中には弁という切りこみがあり、えんそうする時は、弁のはじめに付けたひもを引いて弁をしん動させます。

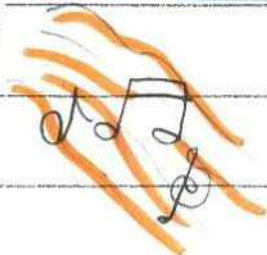
トコリ

主にサハリン(から太)に住んでいたアイヌの人たちの楽器で、弦を両手の指ではじいて音を出します。



音は和楽器の琴に

似ているよ!

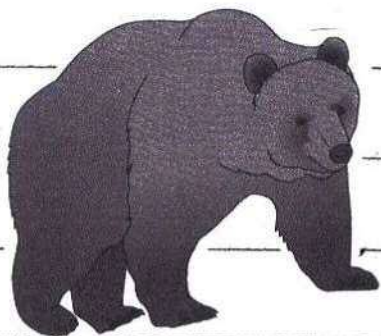


7. アイヌと動植物の関係

アイヌの人たちは、動物や植物、火や水などのほか、うすやきねといった生活用具など、人間が生きていくために必要なものや、病気など、人間の力ではどうすることもできないものを「カムイ(神)」としてうやまいました。しかし、自然災害や命を落とす病気などは悪いカムイのしわざだと考えました。

イオマンテというのは、クマなどの正体は神として、人間世界の楽しさをたんのうしていただき、最後に送り返すぎしきのことです。

キムンカムイ



和名 エリヒクマ

利用 食肉 毛皮

信仰の対象

キムンカムイニ山の神

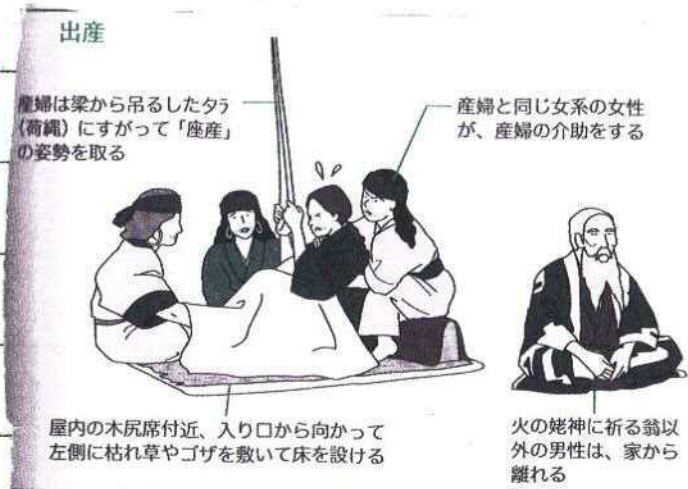
8. アイヌの人たちの一生

・妊娠と出産

まずめでたく妊娠したら、2,3カ月目に火の神と戸口の神、水や大地の神に胎児の発育を祈り、5カ月目には妊婦の夫か舅の古くなった禪で作った腹帯を生母

や同父姉妹など
同じ女系の女の手
でしめる。

出産の様子は
こちら →



・育児

赤子はシンタ(かりかご)にねかせ、まよけとして悪臭のする樹皮をとりつけられた。



(シンター →)

生まれた子共には、おざと汚い名前をつけ、
悪いカムイをとおざけ、健康に育つことを原
しました。それから数年たつて、その子のとくちゅうな
どによりまた名前をつけます。

刺し杭

Children knock down standing sticks.



輪投げ

Children toss a ring at wooden spears.



そして「刺し杭」、軍
投げ、「貝下駄」などで
あそびました。

貝下駄

Children play with toys made from shells.



学校へ楽しく通った
子もいますが、差別
などにより行かなくなる子もいました。

系吉婚

成人と言認められた男女は結婚へといた
ります。さまざまな結婚形式がありました。

自由恋愛や見合い、家同士の結びつきを考えた

ものなどがあり
ました。しかし、

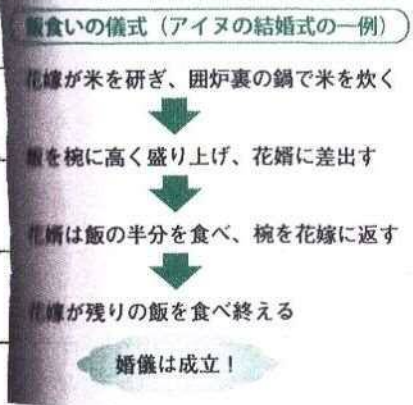
結婚の儀式その

ものは、一杯の山

盛り飯をふたり

で分け合って食べる

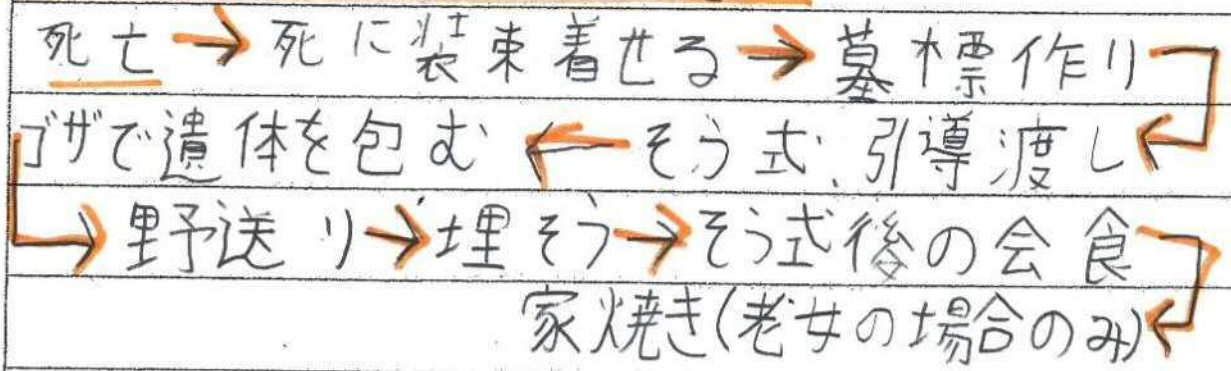
素朴なものでした。



死

アイヌの人たちは、人が亡くなった後は、死後の世界へ行くと考えられています。そこでは、亡くなった人たちが生前と同じように村を作って、生活しているともいわれています。

死からまいそうまでの流れ



9. あかったことまとめ使った資料

あかったこと(感想)

アイヌのことは今まであまり学んだことはなかったけど、とく自の文化や神をうやまう心など、いろいろなアイヌのことがしれてよかったです。

今回は夏休みが10日間だけで、目次を13→9にしぼりましたが、また機会があれば、調べてみたいと思いました。

まとめ

アイヌの人たちは、独自の文化や、神をうやまう気持ちなどを大切にして、生活も、カリなどでとったものは、皮まで使い、ほとんど全てのところをむだにしていまませんでした。

使った資料

インターネット

- ・ ainu-center.hm.pref.hokkaido.lg.jp/
- ・ <https://ja.wikipedia.org/wiki/アイヌ>

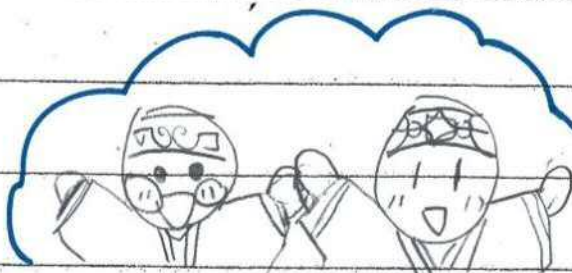
本

- ・ 図解 アイヌ
- ・ アイヌ民族：歴史と現在－未来を共に生きるために－
- ・ いしかりがきのアイヌこ
- ・ さるのアイヌこ

実際に行った資料・体験

・ ウホホイ

・ きょう土じりょうかん



ありがとうございました!!